

新潟大学法学部公開講座のご案内

講座のテーマ 『東アジアと西ヨーロッパ：19世紀から21世紀の東西比較と国際関係』

講義内容 下記のとおり

募集人員 80名(申込順)

受講料 4,000円(資料代1,000円を含む)

申し込み及び問い合わせ……〒956-0816 新津市東町2丁目5-6

新津市教育委員会 生涯学習課 生涯学習係

☎0250-22-9666

回	日 時	内 容	会 場	講 師
1	5月26日 (水) 18:30～20:10	開 講 式 (18:30～18:40) 新潟大学法学部の紹介 『女性の社会進出・セクシャルハラスメントについて』	地域学園	新潟大学法学部 教授 南方 暁
2	6月2日 (水) 18:30～20:00	『「帝国」建設：西と東の夢』 20世紀前半、ドイツと日本は19世紀依頼の帝国主義の影響下に、ともに帝国建設を目指して挫折した。ヒトラーの戦争目的を解明しながら、帝国建設のユートピアについて考える。	〃	新潟大学法学部 教授 谷 喬夫
3	6月9日 (水) 18:30～20:00	『東西の立憲君主制』 昨今、イギリス王室をめぐる騒がしい事件や事故が続いているが、ヨーロッパ王室が本格的に大衆社会の衝撃を受け始めたことを見据えながら、東西の立憲制のあり方について考察する。	〃	新潟大学法学部 助教授 兵藤 守男
4	6月16日 (水) 18:30～20:00	『都市と都市計画の東西』 近代から現代にかけての歴史を通観する時、都市の成長はヨーロッパと東アジアに共通に見られる現象である。その都市の成長の可能性と問題点を、21世紀を展望しつつ考えてみたい。	〃	新潟大学法学部 教授 羽貝 正美
5	6月23日 (水) 18:30～20:00	『近代中国を巡る国際情勢』 アヘン戦争による欧州列強の本格的な中国進出から太平洋戦争終結までの、欧州列強及び日本の中国を巡る国際関係の動きを概観して、近代における西欧と東アジアの関係を再検討する。	〃	新潟大学法学部 教授 内藤 俊彦
6	6月30日 (水) 18:30～20:00	『現代中国を巡る国際情勢』 日本の敗戦による軍事的空白を巡り、国共内戦が生じる。それに続く朝鮮戦争の帰趨は、中国を東アジア冷戦の当事者たらしめた。冷戦の終了を踏まえて、その世界史的意味を振り返る。	〃	新潟大学法学部 教授 真水 康樹
7	7月7日 (水) 18:30～20:00	『世界における中国の位置と21世紀』 東アジア世界において、中国はそもそも秩序そのものとして君臨してきた。21世紀を見据えた中国の動向はその復権でもある。中国という現象に内在しながら、その21世紀を見つめる。	〃	〃
8	7月14日 (水) 18:30～20:00	『世界における日本の位置と21世紀』 日本は世界史上においては、周辺国家として位置づけられてきているが、意図せずに世界史的大事件の原因を2～3回はつくり出している。21世紀を念頭に置いて、その意味を考えたい。	〃	新潟大学法学部 教授 沖野 安春

平成11年度 新津市民大学申込書	
住 所	〒 電話
氏 名	(男・女 才) (職業)
希望講座	

平成11年度 新津市民大学申込書	
住 所	〒 電話
氏 名	(男・女 才) (職業)
希望講座	

申込用紙は受付所にも用意してあります